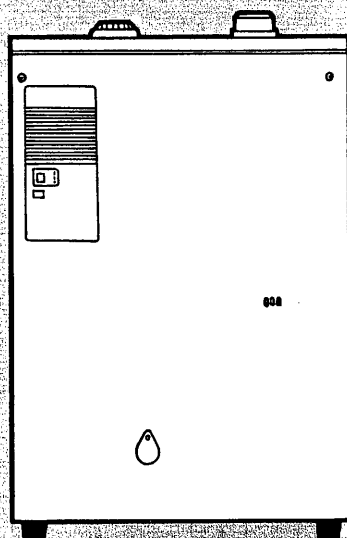
MITSUBISHI
三菱油だき温水ボイラ

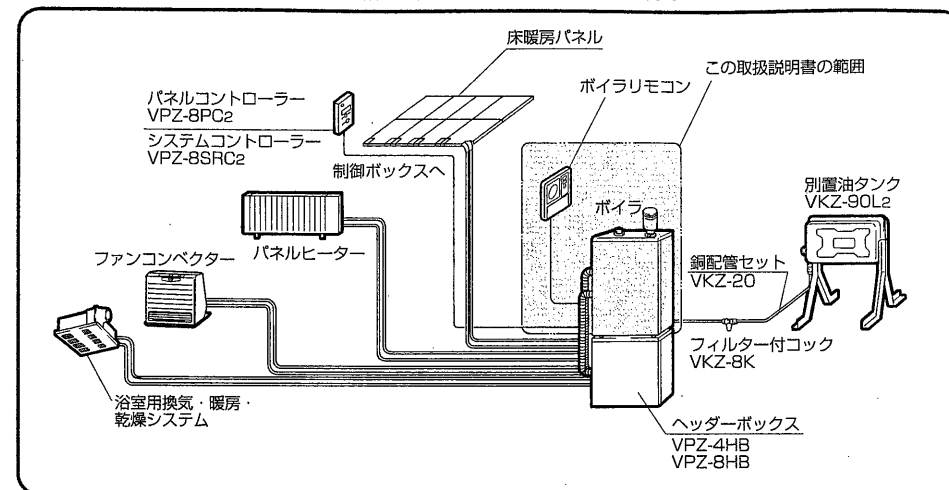
形名
VKH- 50KU -K3
VKH- 80KU -K3　VKH- 80KU -M3
VKH-110KU -K3　VKH-110KU -M3
VKH-150KU -K3　VKH-150KU -M3

0302872HG2302

取扱説明書

お客さま用

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと、お使いになる方がいつでも見られるところに（温水配管図面とともに）保管し、必要なときお読みください。（温水配管図は修理・点検時に必要です）
●保証書と温水配管図面は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。（保証書はこの取扱説明書の裏表紙に印刷されています）
●保証に際しては次のことが守られていない場合、保証修理をお断りすることがあります。
①据付工事説明書に示す正しい工事をする。
②取扱説明書に示す正しい使いかたをする。
③防錆循環液は純正品を指定通り補給・交換する。
④弊社が指定する点検整備・部品交換をする。

三菱温水暖房システムについて

三菱温水暖房システムは、次のようにボイラと放熱機（床暖房パネル、パネルヒータなど）を接続し、快適な暖房をするシステムです。
油だき温水ボイラは、放熱機に温水（防錆循環液）を送るために必要なものです。

油だき温水ボイラはエアリゾート（換気・冷暖房システム）で温風を作るために必要なものです。

もくじ

ご使用のまえに

ページ
安全のために必ずお守りください …………… 4〜6
システムの構成 ………………………………… 7
各部のなまえとはたらき ……………………… 8〜10
プログラムタイマーリモコンのふだんの使いかた ……… 11
使用前の準備 ………………………………… 12〜15

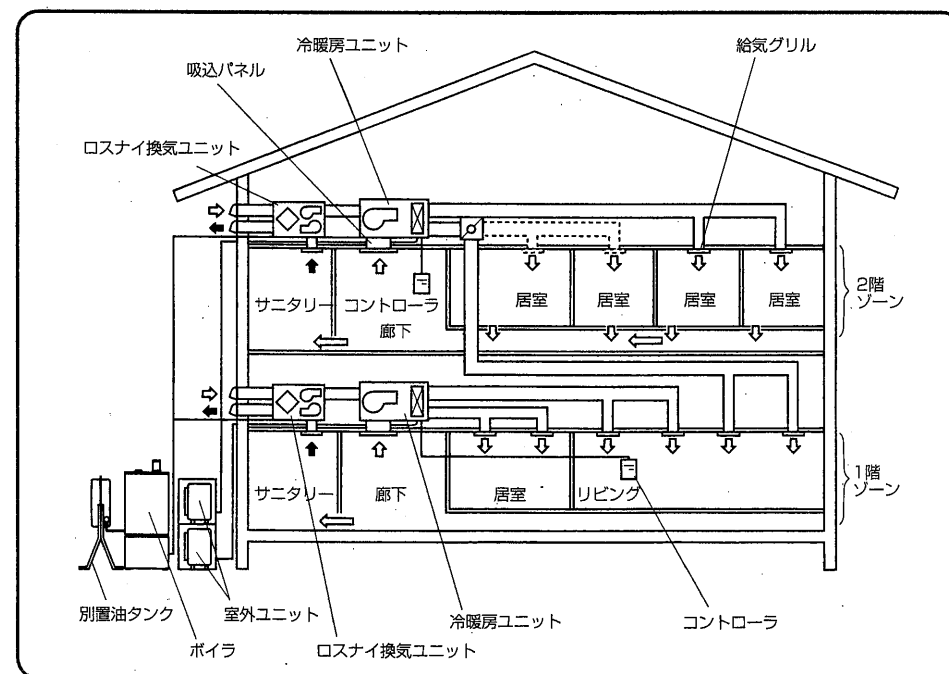
使い方

使いかた ……………………………………… 16〜23

お手入れ

日常の点検・手入れ ………………………… 24〜27
保管（長期間使用しない場合） ……………… 27

こんなとき

据付け ………………………………………… 28〜29
定期点検 ……………………………………… 30〜31
故障・異常の見分けかたと処置方法 … 32〜34
地震などの災害が発生じたときの点検 ……… 35
部品交換のしかた …………………………… 35〜36
仕様 …………………………………………… 37
保証とアフターサービス …………………… 38〜39

次のようなマークで必要な情報を示しています。

［お願い］ 正しく使っていただくための情報です。

メモ より便利にご使用いただくための情報です。

ミニ情報 細部の機能説明です。

参照ページを示します。

安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

●表示と意味は、次のとおりになっています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

ガソリン厳禁	禁止	分解禁止
接触禁止	指示に従い必ず行う	電源プラグを抜く

⚠警告

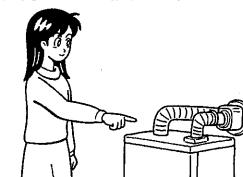
ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は使わない。

ガソリン厳禁

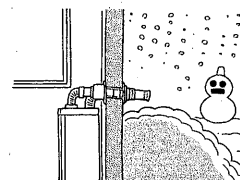
（火災の原因になります。）

はずれ危険

給排気筒が正しく接続されているか点検してください。

点検

（はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります。）

給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないことを確認してください。
ふさがれている場合は除雪してください。

確認

（排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります。）

防錆循環液を幼児の手の届くところに置いたり、飲んだりしない

万一、飲んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診察を受けてください。

防錆循環液

禁止

⚠注意

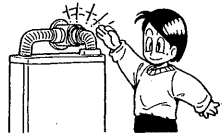
防錆循環液のかわりに水や自動車用不凍液を使用しない

三菱純正防錆循環液

(濃度50%調整品　VPZ-10GX, VPZ-18GX)
を必ず使用してください。
(自動車用不凍液・水だけの使用は防錆効果が異なり、ポンプロック・釜なり・システム寿命低下等の原因になります。)

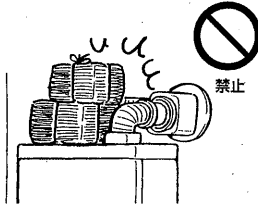
〔補給時も三菱純正防錆循環液をご使用ください。〕

高温部接触禁止

接触禁止

排気パイプ・給排気筒トップ・排気トップは燃焼中・停止直後は高温になっています。
(やけどをします。)

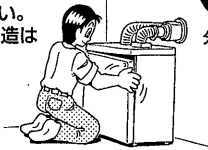
可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

禁止

(過熱により火災の原因になります。)

分解修理・改造の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

分解禁止

(感電事故・火災・故障の原因になります。)

囲い禁止

機器や排気口を板などで囲まない。

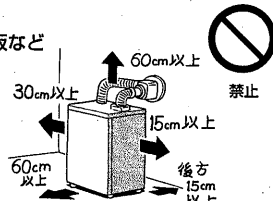
60cm以上
30cm以上
15cm以上
60cm以上
後方15cm以上

禁止

(不完全燃焼や火災の恐れがあります。)

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしない。またコードを持って引き抜かない。

禁止

(火災や感電の原因になります。)

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。また傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しない。

確実実施

(火災の原因になります。)

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグを抜く

(火災や予想しない事故の原因になります。)

電源プラグのお手入れを

時々電源プラグを抜き、ほこりなどを除去する。

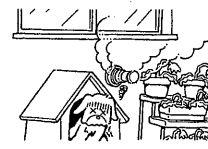
ほこり除去

(ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。)

安全のために必ずお守りください　つづき

⚠注意

排気ガスに注意

禁止

愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない。
(動物が死んだり、植木が枯れる原因になります。)

異常時使用禁止

異常時あわてず消火

禁止

給油時運転停止

停止

(火災の原因になります。)

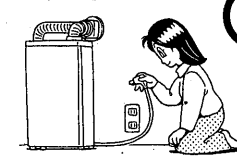
安全のためのお願い

腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない。

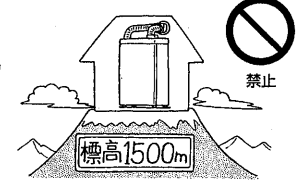
禁止

(変形・故障・給排気部品のはずれる原因になります。)

燃焼中は電源プラグを抜いたり、本体スイッチ・元電源(ブレーカー)を切らない。

禁止

(余熱により故障する原因になります。)

標高1500m以上の高地では使用しない。

禁止

(不完全燃焼の原因になります。)

結露水について　(開放式のみ)

防錆循環液がシスターンタンクよりオーバーフローしたり蒸発してオーバーフローチューブより排出されることがありますが異常ではありません。
排出された結露水で本体底部や周辺部がぬれる場合は、受皿を用意してください。

雷のとき

プラグを抜く

運転停止後電源プラグを抜いてください。
(故障するおそれがあります。)

システムの構成

据付け機器

■お客さまが使用される据付け機器（ボイラ・放熱機等）を下表で確認してください。
この表が記入されていない場合は販売店・工事店に記入をご依頼ください。

ボイラ形名	製造番号	据付け日
VKH-		年　月　日

放熱機の種類と形名	台　数	据付け日
エアリゾート：	台	年　月　日
床暖房パネル：	台	年　月　日
浴室換気・暖房・乾燥システム：	台	年　月　日
パネルヒーター：	台	年　月　日
リビングヒーター：	台	年　月　日
ファンコンベクター：	台	年　月　日
	台	年　月　日

システム部材	システム部材
プログラムタイマーリモコン VPZ- 温調リモコン VPZ- ヘッダーボックス VPZ-	防錆循環液 VPZ-10, 18GX その他部材 VPZ-

メンテナンス及びボイラ付替え時には温水配管図面が必要ですので工事店の方から必ず受け取って本書とともに大切に保管してください。
（上記機器が本書裏表紙のボイラ保証書での保証の対象になります。）

■三菱床暖房パネルの保証

- 対象：床暖房パネル（根太上・根太間）製品に起因する水漏れおよび詰まり
- 内容：床暖房パネル本体交換時の本体費用および工事費
  床材等床暖房の修復時に必要な部材および工事費
- 下記の保証条件が満足される場合は保証期間は 10年になります。
  ①三菱が指定する工事店にて技術マニュアルに従い正しく施工されていること。
  ②三菱純正防錆循環液を使用していること。
  ③定期点検制度に加入し規定の点検を受けていること。

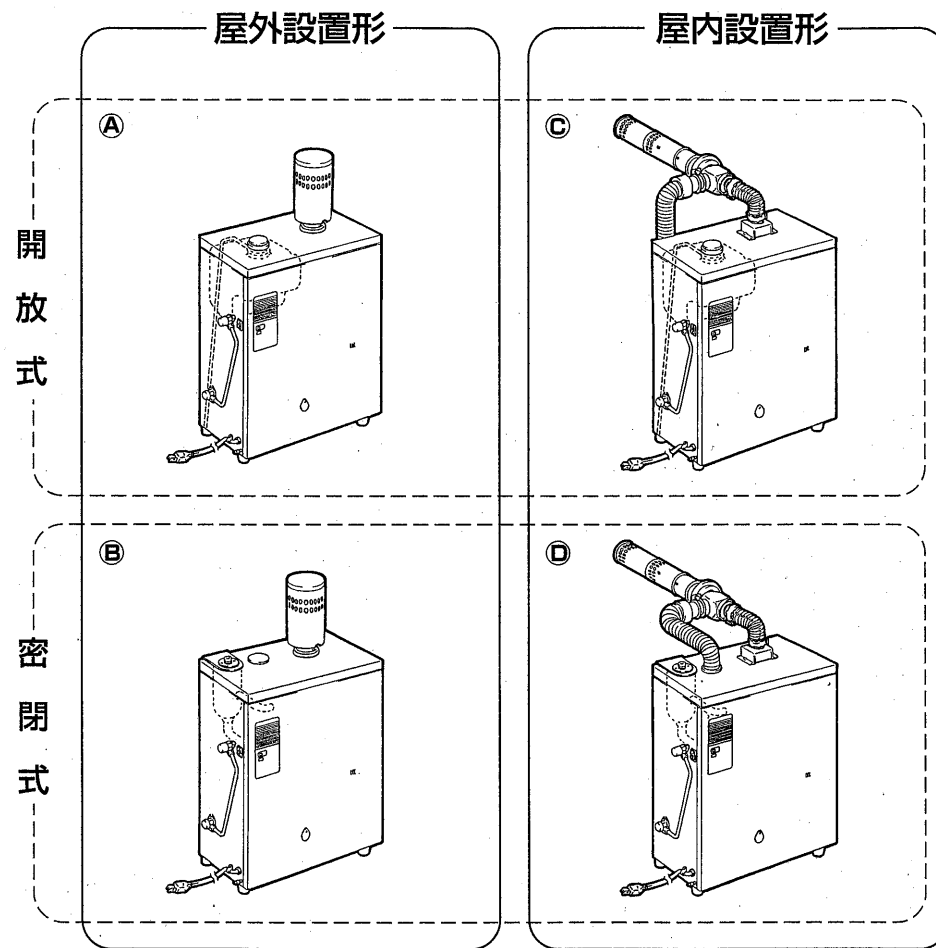
■BL認定商品特定機能部分の保証

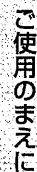
品　目	無償保証期間
温水熱源機の熱交換器	3年
暖冷房放熱器等の熱交換器	3年
床暖房ユニットの温水パネル	5年
搬送部（温水配管まわりの部材）	5年
上記以外の BL 商品	2年

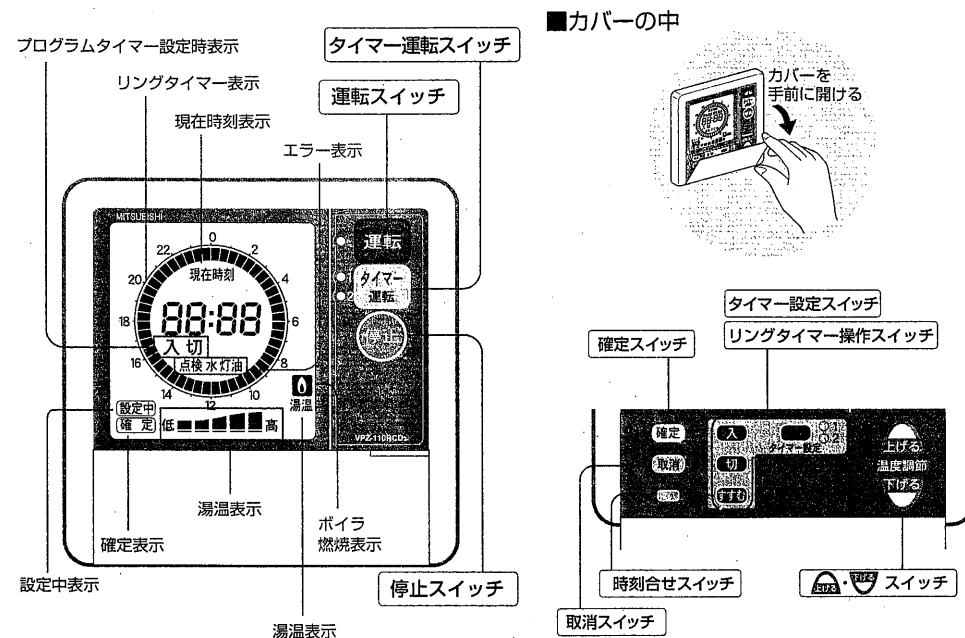
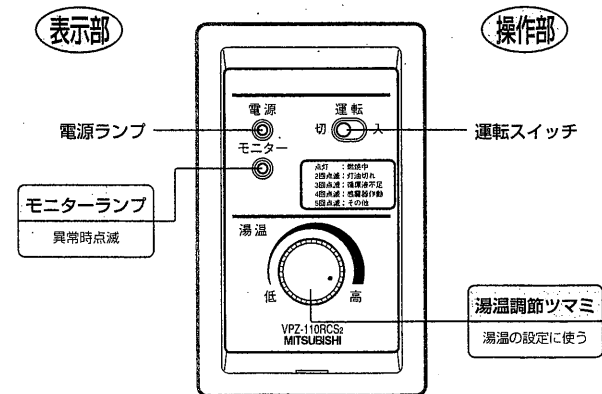
※BL認定商品とは、BL商品と認定され、さらにBLラベルが貼られている商品のことをさします。

販売店	
	店名　㊞
	住所
	電話番号
お買い上げ日	年　月　日

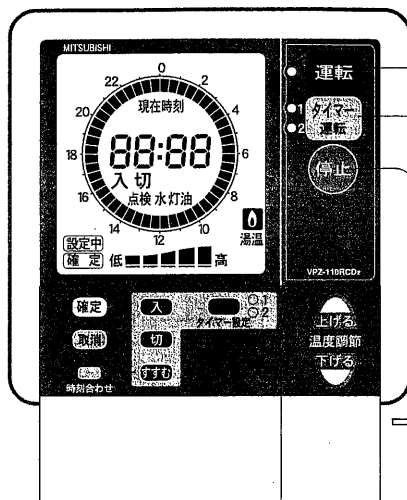
各部のなまえとはたらき

油だき温水ボイラは給排気工事の違いにより屋内設置形、屋外設置形があります。さらに温水配管工事の違いによりK（開放式）とM（密閉式）に分れています。

Ⓐ 屋外設置形開放式タイプ
Ⓑ 屋外設置形密閉式タイプ
Ⓒ 屋内設置形開放式タイプ
Ⓓ 屋内設置形密閉式タイプ

屋外設置形開放式タイプ

屋内設置形密閉式タイプ

プログラムタイマーリモコン：VPZ-110RCD2 …システム部材

温調リモコン：VPZ-110RCS2 ………システム部材

●上記のリモコンを使わないシステムもあります。その場合は、使用するリモコンの説明書に従ってください。

プログラムタイマーリモコンのふだんの使いかた

このリモコンでボイラの運転・停止および室温を調節します。

「運転」スイッチを押す（ボイラが運転する） P. 17

• ピッと音がしてランプが点灯し、運転を開始します。

「タイマー運転」スイッチを押す P. 19

• ピッと音がしてタイマー運転が開始します。
• 液晶表示にタイマー設定した時間がリング状に表示されます。
• タイマー運転は２通り（タイマー１，タイマー２）設定できます。

「タイマー運転」スイッチは押すたびに「１」と「２」が交互に切替わります。

※ タイマー運転は「時刻合わせ」がされていないと働きません。
時刻合わせを行ってください。⇒時刻合わせのしかたは P. 16

「停止スイッチ」を押す（ボイラが停止する） P. 17

ピッと音がしてランプが点灯し、運転を開始します。

湯温を調整する P. 17

リモコン下部のカバーをあけて「温度設定」スイッチを押して湯温を設定します。

使用前の準備（燃料・給油）

燃料

■必ずJIS１号灯油を使う

ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息をふきかけます。
（火の気のない所でしてください）

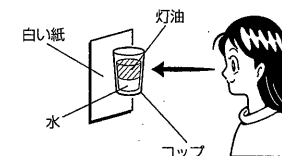
灯油

ぬれたままです

ガソリン

すぐ乾いてしまいます

変質灯油の見分けかた

水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、すっぱい臭いがします。

■変質灯油とは

●日光のあたる場所で長期間保管したもの。
●温度が高い場所で長期間保管したもの。

■不純灯油とは

●水やごみが混入したもの。
●灯油以外の油（天ぷら油、機械油、ガソリン等）が混入したもの。
●助燃剤等が混入したもの。

■誤って変質灯油、不純灯油を使用してしまった場合

プログラムタイマーリモコン：VPZ-110RCD2使用の場合

●運転が停止する。
●デジタル表示部にエラー表示を表示する。

温調リモコン：VPZ-110RCS2使用の場合

●運転が停止する。
●モニターランプが5回点滅を繰り返す。
●運転スイッチを入れ直す。
●運転しなければ、販売店に修理依頼をする。

使用前の準備（燃料・給油）つづき

給油

1. 給油の際の注意

⚠警告	ガソリン厳禁

●給油の際に、水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良などの原因になります。

空になる前に灯油を入れてください。

（空になると配管途中に空気がたまって、油が流れないことがあります）

この範囲でご使用してください

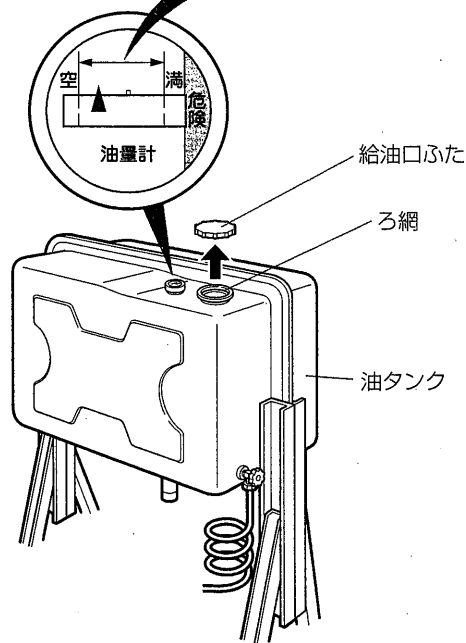
空　満　危険

油量計

給油口ふた

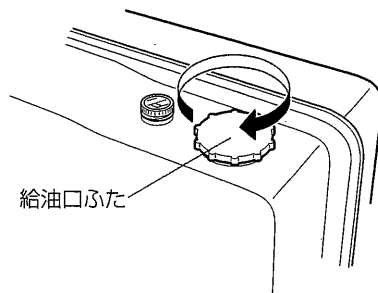
ろ網

油タンク

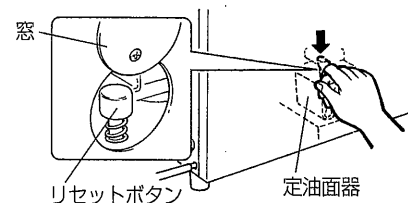
2. 給油の手順

（1）油タンクの給油口ふたをはずす。

（2）給油口についている「ろ網」の上からこぼさないように灯油を入れる。

（3）給油口ふたを確実に閉める。

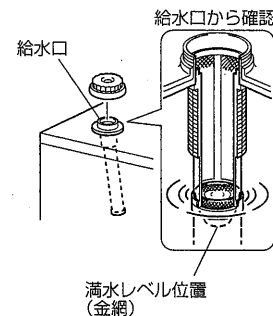
[お願い]	万一、こぼれた場合はよくふきとってください。

使用前の準備

運転開始前の準備

■定油面器のセット

1.窓を開け、リセットボタンを1回押す。
2.リセットボタンが元に戻ったことを確認する。
3.窓を閉める。

メモ
定油面器は、製品に振動が加わったとき、自動的に送油をしゃ断します。通常は弁が開いて送油されています。その状態でリセットボタンを押しても、弁は開いたままです。

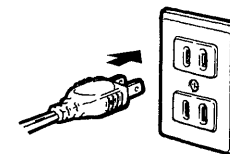
こんなときリセットボタンを押します
E-01 E-11 E-13 U-17 U-06 が表示されたとき
U-17 の場合はさらに本体スイッチを「切」→「入」します。

■防錆循環液の水位確認……開放式のみ

1.ボイラ本体に電源を投入した時に表示窓の「循環液不足」ランプが点滅しているか確認します。ランプが点滅しているときは防錆循環液を給水口から補給します。（補給の目安：約1ℓ）
●設置後1ヶ月間くらいは、施工時に配管から抜けきれなかった空気が抜け、急激に防錆循環液が減少することがあります。
●防錆循環液が不足しますと、空だき防止装置が作動して運転を停止します。

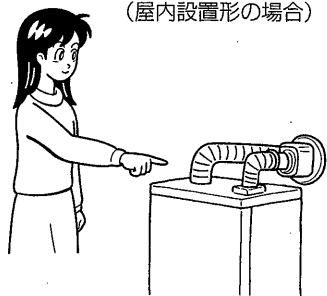
2.水フィルターに満水レベル位置がありますので、金網部の位置まで防錆循環液が入ったか確認します。

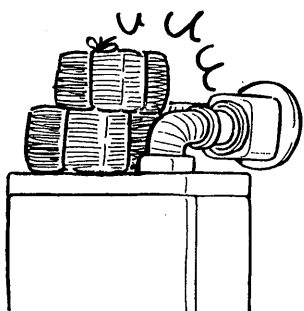
[お願い]	防錆循環液を満水レベル位置以上に入れないでください。本体下部のオーバーフローチューブから防錆循環液があふれ出します。

■油タンクの送油バルブ及びフィルタ付コックを開く

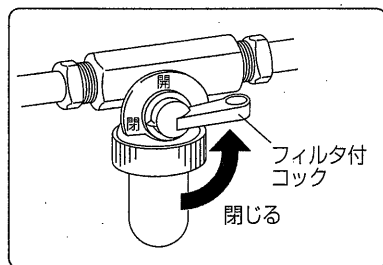
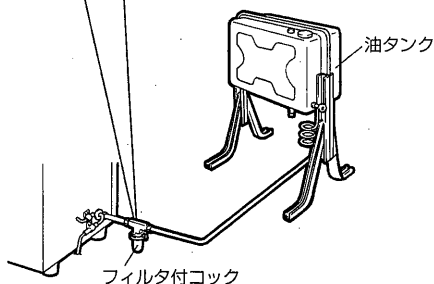
■電源プラグをコンセントに差し込む

運転開始前の確認

■給気ホース、排気筒が正しく接続されているか確認してください。

（屋内設置形の場合）

⚠警告	はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります。

■ボイラの周辺および給排気筒トップ周辺に可燃物を置かない。

⚠注意	過熱により火災の原因になります。

■製品から油漏れがないか確認してください。

万一、油漏れしている場合は油タンクの送油バルブとフィルタ付コックのバルブを閉じて、必ずお買上げの販売店に修理依頼、または近くの「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■温水配管からの防錆循環液漏れの確認

本体や温水配管接続部から防錆循環液が漏れてないか確認してください。 ……… 31ページ

■油タンク据付状態の確認

油タンクの据付け・接続は販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施しますが、据付工事完了後お客さまご自身でもご確認ください。 ……… 30ページ

使いかた

ボイラの運転操作はボイラリモコン（プログラムタイマーリモコンと温調リモコン）とシステムリモコンおよびE-Con接続（連動運転）で行います。ここではボイラリモコンの操作を示します。
E-Con接続（連動運転）がしてある場合、ボイラリモコンが「切」でもボイラは運転することがあります。

プログラムタイマーリモコン：VPZ-110RCD2の場合

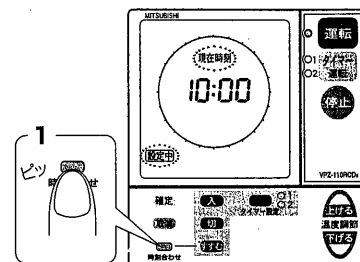
1. 時刻合わせのしかた

時刻合わせはリモコンのふたをあけて「時刻合わせ」スイッチと「すすむ」スイッチを使用して設定します。

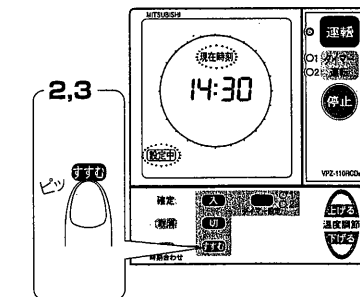
1 時刻合わせ スイッチを押し、時刻が表示され 設定中 が点滅する

例 現在時刻14：30に合わせる場合

10：00が点灯表示されます。

メモ
- 初期設定では[--:--]になります。
- 電源投入時はしばらくのあいだ[CC:CC]が表示され、スイッチ操作ができません。
- 工場出荷時は10：00に設定してあります。

2 <時の設定>を行う。
すすむ スイッチを長く押し続ける
- 分の単位が連続して進み、終わると続けて時の単位が11→12→13→14と変わります。

14を確認して指をはなす。

メモ
- すすむ スイッチは押し続けると連続して変わります。
（最初は分単位、次に時間単位で変わります）

3 <分の設定>を行う。
①分の単位が30になるまで すすむ スイッチを押す。
② 確定 スイッチを押して確定します

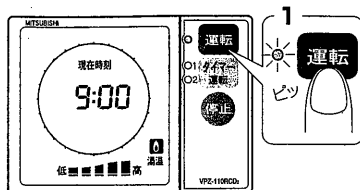
設定中 表示が 確 定 表示に変わります。
その後現在時刻表示に戻ります。

メモ
- 10秒間スイッチ操作しないと自動的に確定します。
- 停電があった場合、時刻は停電発生時の時刻を点滅表示します。再度時刻合わせを行ってください。

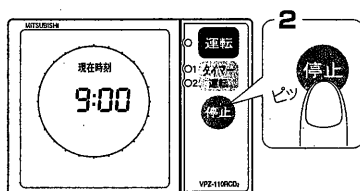
2. 運転開始と停止

1 暖房運転開始

運転スイッチを押す

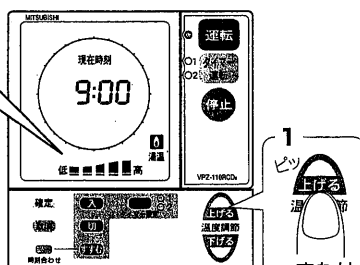
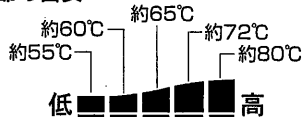
運転ランプが点灯し、湯温表示・運転表示が表示されます。
ボイラが運転し、燃焼を開始します。
点滅：予熱中
点灯：燃焼中

2 暖房運転停止

停止スイッチを押す

運転ランプ、湯温表示、運転表示が消灯します。
ボイラが運転停止し、放熱機への温水の供給が停止します。

3. 湯温調節のしかた

1 **上げる 下げるスイッチを1回押す**

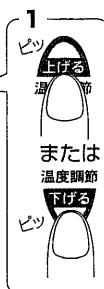
設定中 と湯温表示が点滅します。

湯温調節の目安

2 **上げる 下げる スイッチでお好み湯温に設定する**

押すたびに設定湯温が1段階ずつ変わります。

確定 スイッチを押して確定する。

設定中 表示が 確定 表示に変わります。その後現在時刻の表示に戻ります。

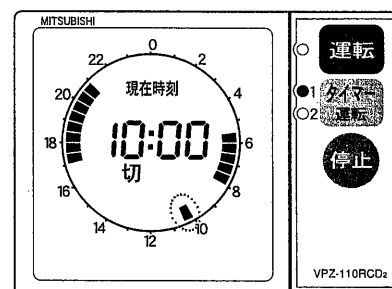
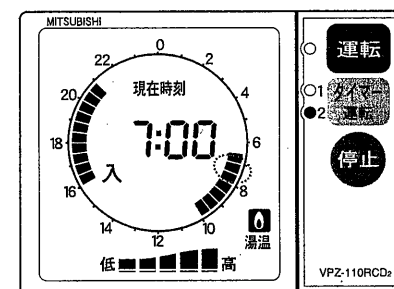
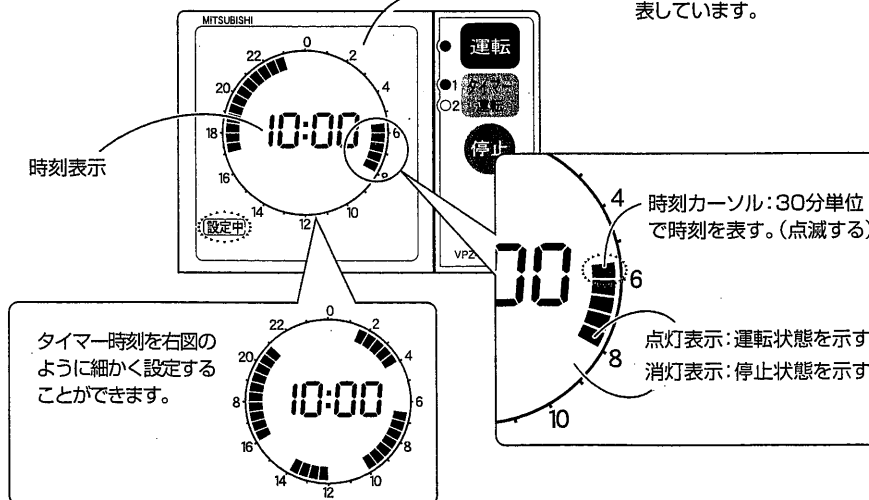
メモ
- 工場出荷時の設定は最大レベル(5段目)です。

使いかた つづき

4. プログラムタイマー運転のしかた

タイマー運転は上手に使いこなすと、生活のリズムに合った運転ができ、より快適な暖房をすることができます。

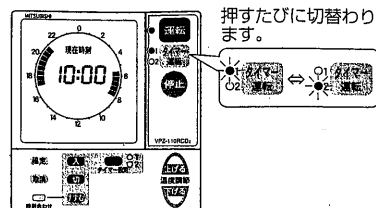
プログラムタイマーとは

24時間中で、暖房開始と停止を30分単位できめ細かく設定することができるタイマーです。
プログラムタイマーは、毎日操作しなくても決まった時間に暖房します。また、プログラムタイマーは2つまで設定することができます。例えばタイマー運転1を平日用、タイマー運転2を休日用として運転時間を変えて設定しておくと便利です。

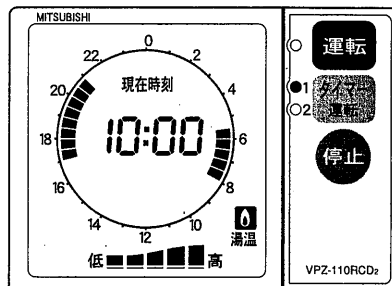
タイマー運転1(平日用)
運転時間例：5：30〜8：00
17：00〜21：00

タイマー運転2(休日用)
運転時間例：6：30〜10：00
16：00〜21：00

リングタイマー表示の説明

■プログラムタイマー運転のしかた

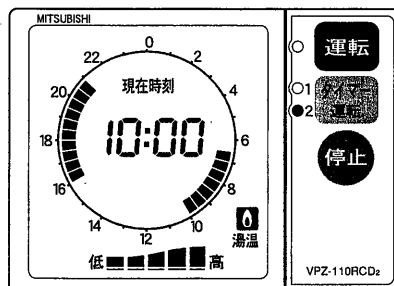
1 タイマー運転 スイッチを押す。

タイマー運転ランプが点灯します。タイマー運転スイッチを押すたびに 1⇔2 のランプが切替わり、リングタイマーに設定状態が表示されます。

メモ
- 途中で停止したい場合は停止スイッチを押します。

2 (タイマー設定を変更しない場合)
タイマー運転 スイッチを押すことで次のようなプログラムタイマー運転が可能です。

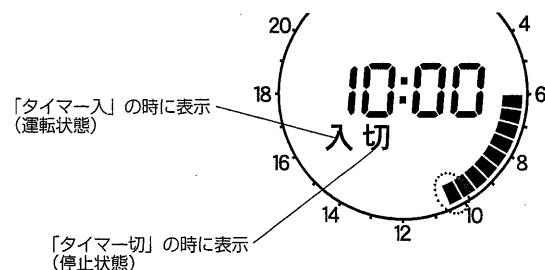
タイマー運転1の場合

タイマー運転1(平日用)
運転時間:5:30~8:00
17:00~21:00

タイマー運転2の場合

タイマー運転2(休日用)
運転時間:6:30~10:00
16:00~21:00

このリモコンは、工場出荷時にご使用の運転時間(平日用、休日用)を想定してプログラムタイマーを設定してあります。 スイッチを押すだけでタイマー運転がご使用になれます。(タイマー設定を変更した場合でも同じ操作でタイマー運転がご使用になれます。)

■プログラムタイマー運転中の表示

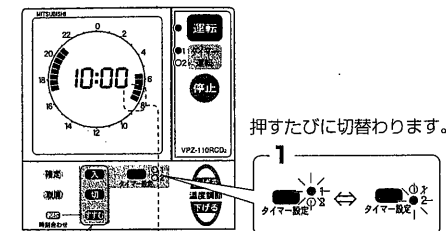
「タイマー入」の時に表示(運転状態)

「タイマー切」の時に表示(停止状態)

使いかた つづき

■プログラムタイマー設定のしかた

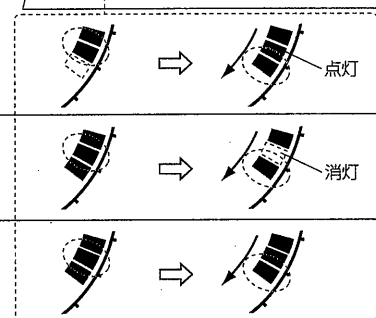
プログラムタイマー設定にはリモコンのカバーをあけて次のスイッチを使用します。

■ タイマー設定 タイマー設定スイッチ

タイマー1、タイマー2を選択します。
(タイマー1、2のランプが点灯します)

■ 入、切、すすむ スイッチ

入 スイッチは時刻カーソルを点灯させ1つ進める。(□が■になります) → 点灯

切 スイッチは時刻カーソルを消灯させ1つ進める。(■が□になります) → 消灯

すすむ スイッチは時刻カーソルを時計方向に進める。(表示は変えません:■は■、□は□のままです)

■ 確定 スイッチ

タイマー設定を確定して、設定状態から元の状態にもどります。
設定の完了時に押してください。

■ 取消 スイッチ

タイマー設定を中止したいときに使用します。
「取消」スイッチを押すと設定を中止して元の状態にもどります。
(タイマー予約の内容は操作前の状態が保持されます。)

メモ

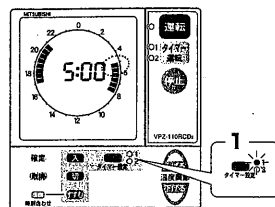
設定をすべて消去して設定する方法にはつぎの2つの方法があります。
- タイマー設定中に「切」スイッチを押して24時間分を停止状態とする。
- タイマー設定中に「すすむ」スイッチと「時刻合わせ」スイッチを同時に押して、一斉に24時間分を停止状態にする。

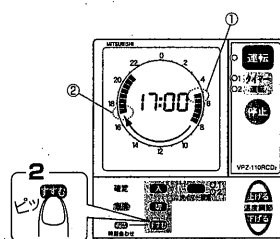
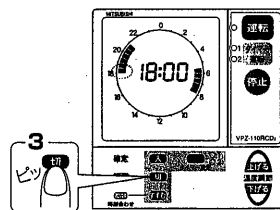
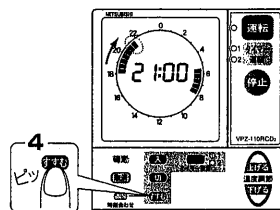
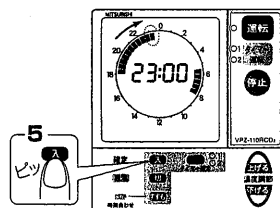
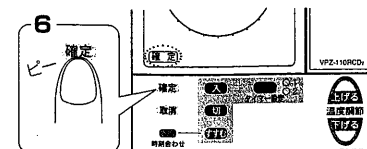
使いかた つづき

■タイマー設定を少し変更するとき

タイマーにあらかじめ設定されている 17：00～21：00（タイマー運転 1）の運転を 18：00～23：00 に変更する場合

1 **タイマー設定 スイッチを押す**

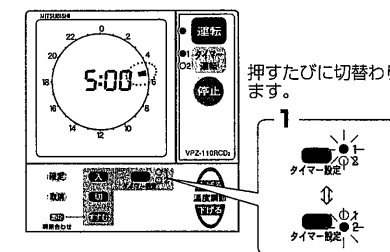
タイマー１を選ぶ。（タイマーランプが点灯）

2 **①5：00 のところで時刻カーソルが点滅する。**
② すすむ スイッチを押して 17：00 のところまで時刻カーソルを進める。

メモ
- 電源投入後、最初のタイマー設定変更時は 5：00のところで時刻カーソルが点滅します。2 回目以降最後に変更した時刻カーソルが点滅します。

3 **切 スイッチを 18：00 のところまで進める。**

4 **すすむ スイッチを押して 21：00 のところまで時刻カーソルを進める。**

5 **入 スイッチを押して 23：00 のところまで進める。**

6 **確定 スイッチを押して確定する**
- 確定表示が点灯後、現在時刻に変わります。
- 途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。（タイマー予約の内容は操作前の状態が保持されます。）
- 確定 スイッチを押さないと設定は変更されません。

■タイマー設定を大幅に変更するとき

1 **①タイマー設定 スイッチを押す**
- 押すたびにタイマー１⇔タイマー２のランプが切替わります。

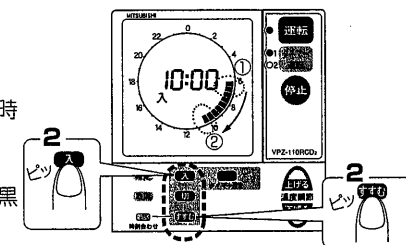
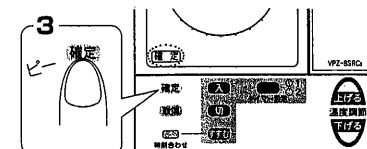
②タイマー １、タイマー ２のどちらかを選ぶ

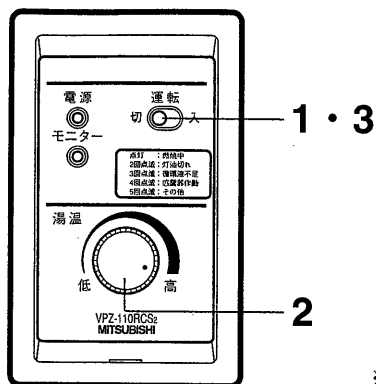
③タイマー設定中に すすむ スイッチと 時刻合わせ スイッチを同時に押して設定を全て取り消します。

5：00 のところでリングタイマーのカーソルが点滅します。

2 **設定する**

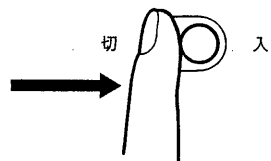
例 6：00～10：00の運転の場合

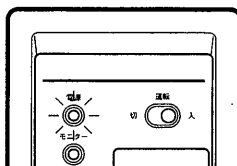
① すすむ スイッチを押し、6：00 のところまで時刻カーソルを動かす。
- 時刻表示も同時に変わります。

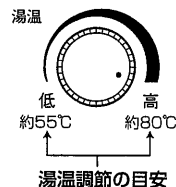
② 入 スイッチをくり返し押し 10：00 まで黒表示に変える。

3 **確定 スイッチを押して確定する**
- 確定表示が点灯後、現在時刻に変わります。
- 途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。設定を中止し、元の状態に戻ります。

4 **タイマー運転 スイッチを押す。**
- タイマー運転を開始します。

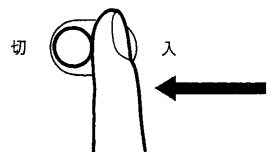
温調リモコン：VPZ-110RCS2の場合

※番号は操作手順を示す。

1. 運転のしかた

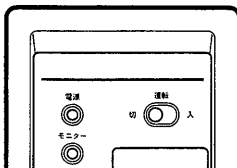
「運転」スイッチを「入」にする

●電源ランプが点灯します。
●約10分後点火します。
（燃焼中はモニターランプが点灯します）

表示部・操作部

2. 湯温調節のしかた

湯温調節ツマミを回して調節する

3. 停止のしかた

「運転」スイッチを「切」にする

●電源ランプが消灯します。
●しばらくして温水循環ポンプの運転が停止します。

表示部・操作部

使い方

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、製品が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際はけが防止のために手袋を着用してください。

[お願い]	**温水システム配管にあるバルブは操作しないでください。（各部屋の放熱機の暖まり具合が最適になるように調整されています）**

点検・手入れ

■シーズンはじめ

●**防錆循環液の水位確認（開放形のみ）**
防錆循環液を上限レベル位置まで補給します。 ……26ページ
（補給に使用する防錆循環液の費用はお客様のご負担となります）

●**油タンクの確認**
給油口のろ網の汚れと油タンク下側のドレン受けの浮子の確認をします。 ……25ページ
変質灯油、不純灯油が入ってないか確認します。

●**定油面器のセット**
定油面器リセットボタンを押します。 ……14ページ

●本体の温水配管接続部からの防錆循環液が漏れていないか点検します。

●給排気筒トップ・給気ホース・排気筒
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。また、屋内の給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認します。

●ゴム製送油管にひび割れ・破損・漏れがないか点検します。
交換の目安は3年です。
（ゴム製送油管は屋内設置形のみ使用可能です）

■使用のたびに

●排気ガス（屋内設置形の場合）
排気ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排気ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

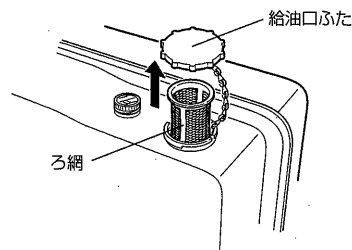
●油漏れ、油のたまり、油のにじみ
本体送油経路および送油管接続口に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検します。

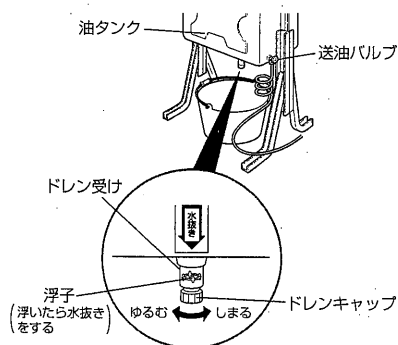
●周囲の可燃物・引火物
本体の上や周囲・給排気筒トップまたは排気トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検します。

日常の点検・手入れ つづき

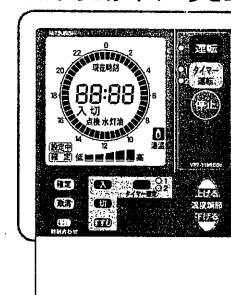
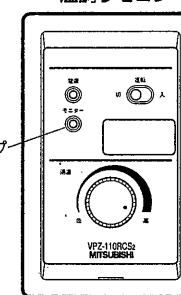
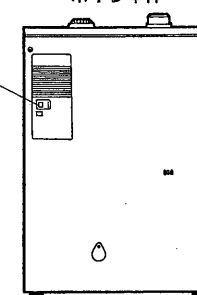
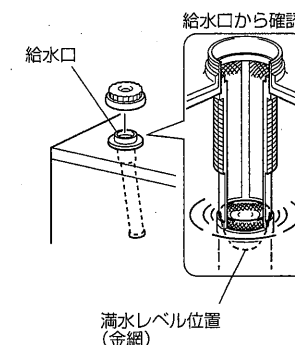
■1シーズンに1～2回

●外観の清掃
製品外観などの汚れやほこりは、石けん水に浸した布などできれいにふきとります。
●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤
（変質したり、塗装がはげたりする原因となります）

●ろ網
必ず灯油で洗う
1.給油口ふたをはずします。
2.ろ網を取りはずします。
3.きれいな灯油で洗います。
4.元通り、ろ網と給油口ふたを取り付けます。

[お願い] **水では洗わないでください。**

●油タンク
浮子を目安に水抜きする
油タンク内に水が入るとドレン受け内の浮子が浮き上がるので水抜きをします。
1.送油バルブを「止」にします。
2.ドレン受けの下に4ℓ以上の容器を置き、ドレンキャップを2～3回転ゆるめ水抜きをします。
3.水抜きが終わりましたらドレンキャップを元通り締め付けます。
4.浮子が沈んでいるのを確認します。
5.送油バルブを開きます。

■1シーズンに1～2回（開放式のみ）

●防錆循環液の補給
シスターンタンク内の防錆循環液は少しずつ蒸発するので以下の表示が出ている場合は、防錆循環液（VPZ-10GX、VPZ-18GX）を約1ℓ補給する。

プログラムタイマーリモコン

温調リモコン

ボイラ本体

1.給水キャップをはずす。
2.三菱純正防錆循環液（VPZ-10GX、VPZ-18GX）を約1ℓ入れる。
●純正品を使用しないと故障の原因になります。
●水は入れないでください。
（補給に使用する防錆循環液の費用はお客様のご負担となります）
3.給水口からのぞいて、水フィルターに満水レベル位置がありますので、突起部まで防錆循環液が入ったか確認する。
4.給水キャップを閉め、運転開始する。
●満水レベル位置以上に防錆循環液を入れますと暖房運転の際、本体下部のオーバーフローチューブより、防錆循環液があふれ出ることがあります。
●防錆循環液が不足しますと、空だき防止装置が働き運転を停止します。

■2年に1回、4年に1回

●防錆循環液の交換
防錆循環液は2年に1回強化剤添加、4年に1回交換が必要ですので、お買上げの販売店に依頼してください。
（所定期間以上過ぎますと、防錆循環液の性能が低下し、凍結、破損、腐食の原因になります）

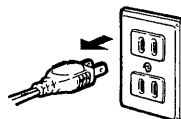
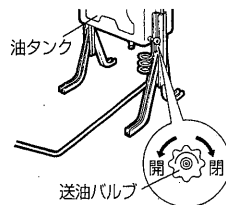
■圧力計の指示値点検（密閉式のみ）

圧力計の指示値を点検し、冷えた状態で圧力が徐々に下がっていくようであれば、お買上げの販売店にご連絡ください。
運転時（暖かい状態）の指示値目安は停止時（冷えた状態）の約2倍です。
（圧力計が設けられていない場合もありますが、不備はありません）

保管（長期間使用しない場合）

■長期間使用しないとき（シーズン終了時）は、次の要領でお手入れしてください。

製品は据付けたままにしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 油タンクの送油バルブを「閉」にしてください。

3 製品外観を掃除してください。

[お願い]	製品内部の清掃は必ずお買上げの販売店に依頼してください。

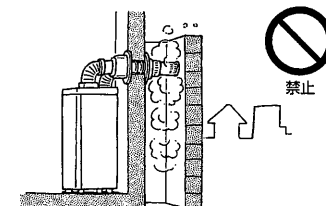
据付け

据付場所の選定

製品の据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。

⚠警告	●積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないように注意してください。（屋内設置形の場合）
[お願い]	●厳寒地域では給排気筒トップに「つらら」がつくことがありますので注意してください。（屋内設置形の場合） ●本体が雪にうもれたり、浸水するような場所に据付けないように注意してください。（屋外設置形の場合）

[お願い]

●排気ガスがよどまないか確認してください。
排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。
●タコ足配線で使わないでください。
電源コンセント（単相100V）は専用でお使いください。

製品と周囲との距離

製品を据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準〔（財）日本石油燃焼機器保守協会〕で決められている下図の可燃物との距離を必ずとってください。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

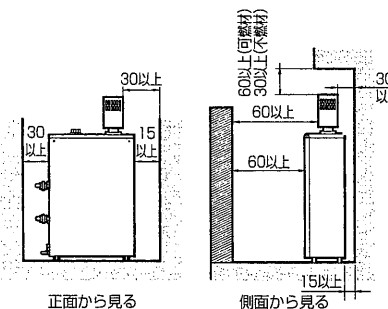
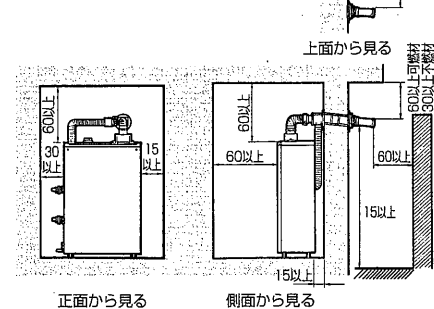
屋外据付け [単位cm]

30以上　30以上　15以上　60以上（可燃材）　30以上（不燃材）　60以上　60以上　30以上　15以上

正面から見る　側面から見る

屋内据付け・FF式 [単位cm]

側方可燃物　45以上　上面から見る　60以上　30以上　15以上　60以上　60以上　60以上（可燃材）　30以上（不燃材）　60以上　15以上　15以上

正面から見る　側面から見る

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

■運転準備

1. 油タンクに給油します。
2. 定油面器リセットボタンを押します。
3. 油タンクと給油アタッチメントの送油バルブを「開」にします。
4. 定油面器の油抜き用ネジをゆるめ、エア抜きをします。
5. 油タンクや送油管から油漏れがないか確認します。
6. 開放式ボイラは給水キャップをはずし、シスターンタンクに防錆循環液を補給します。
7. ボイラ本体および温水配管接続部から循環液が漏れていないか確認します。
8. 電源プラグをコンセント(単相100V)に確実に差し込みます。
9. ボイラの本体スイッチ(製品本体左側)を「入」にします。

■運転開始と停止の手順

〔プログラムタイマーリモコンの場合〕

- **「運転」スイッチを押す**
  運転ランプが点灯し、約10分後に燃焼を開始します。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。
- **「停止」スイッチを押す**
  運転ランプが消灯し、運転が停止します。

〔温調リモコンの場合〕

- **「運転」スイッチを「入」にする**
  電源ランプが点灯し、約10分後に燃焼を開始します。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。
- **「運転」スイッチを「切」にする**
  電源ランプが消灯し、運転が停止します。

■初期運転時の異常現象

●初期運転時や燃料切れの際、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
●においが出ることがありますが、燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。
●初期運転時や燃料切れの際、汲上げポンプに灯油がくるまでの間、空打ちのため大きな音を発生することがありますが、灯油がくればおさまります。

定期点検〈2シーズンに1回、定期点検をおすすめします。〉

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。未然にトラブルを防止し安心してご使用いただくため、シーズン終了後などに、お買上げの販売店、又は「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」(34ページ)又は修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で定期点検を受けてください。
定期点検・交換部品の費用は、お客さまにご負担いただきます。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

当社は温水暖房定期点検制度を採用し、きめ細かなチェックと確かな技術で温水暖房システムの快適性を保ちます。是非販売店・工事店とメンテナンス契約を結ばれることをおすすめします。

据付工事後の確認と定期点検

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。
お買上げの年から2年毎を目安に定期点検および保守・交換を受けてください。(費用については販売店がご説明申し上げます)

分類	点検項目	参照ページ	据付工事後		定期点検(2年毎)				
			販売店チェック	お客さまチェック					
製品	本体のまわりは必要な空間がありますか。	5、28							
	排気筒にカーテンなど可燃物は接触していませんか。(電源コードが接触していませんか)	5							
	床固定、壁固定のゆるみ・はずれがありませんか。	−							
	製品、送油管から油漏れはありませんか。	15							
	温水配管接続部から防錆循環液が漏れていませんか。	15							
	電源プラグ、コードの破損、ガタツキはありませんか。	14							
	本体内の基板などに著しい汚れはありませんか。	−							
	本体内の電気配線にひび割れ、焦げ等の劣化、汚れはありませんか。	−							
	燃焼状態、異常音、異常振動などはありませんか。	−							
	温水循環ポンプを初めて運転する場合(あるいは長期間運転しなかった場合)は、内部のエア抜きを完全に行いましたか。	据付工事説明書							
油タンク	油タンクや送油管から油漏れはありませんか。(屋外は金属配管)	15							
	油タンクの据付けは基準寸法が守られていますか。(油タンク設置範囲−1.5m～＋2.5m)	据付工事説明書							
	変質灯油、不純灯油を使用していませんか。油タンクの中に水がたまっていませんか。	12							

分類	点検項目	参照ページ	据付工事後 販売店チェック	据付工事後 お客さまチェック	定期点検（2年毎）
給排気部品	給排気筒トップ（排気筒トップ）の周囲は基準寸法が守られていますか。	28			
	屋根に積雪した雪の落下でふさがれませんか。	4			
	給排気筒トップの給気口・排気口が異物でふさがっていませんか。給排気筒トップ（排気トップ）の周囲に障害物（樹木・愛がん動物・雪のふきだまり）、危険物はありませんか。	4、6			
	給排気筒のはずれ・ゆるみがありませんか。	4			
	給排気筒トップの取付けが屋外に向って下り勾配になっており、排気ガスが屋外へ排気されるようになっていますか。	据付工事説明書			
	給排気筒トップおよび排気筒に著しい腐食変形はありませんか。	－			
延長工事	床下・天井裏へ給排気、壁埋込みの配管工事、集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	据付工事説明書			
	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	据付工事説明書			
	給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内、立上げ寸法は1.8m以下ですか。	据付工事説明書			
	排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	据付工事説明書			
検知リード	屋内設置の場合、排気筒はずれ検知リードは給気ホースにそって固定され、給排気筒トップに接続されていますか。（排気筒に接触していませんか）	据付工事説明書			
設置工事	D種接地工事（接地抵抗100Ω以下）がしてありますか。	据付工事説明書			
防錆循環液	次回点検予定日は記入されていますか。（2年に1度防錆強化剤注入、4年に1度交換していますか）	26			
	循環液メンテナンス予告表示をお客さまに説明し、了解を得られたとき予告表示設定をしましたか。	据付工事説明書			
	防錆循環液の劣化、汚れ、錆の発生はありませんか。	26			
	システム全体の水漏れはありませんか。	－			
	三菱純正防錆循環液［VPZ-10GX、VPZ-18GX］を使用していますか。	26			
	濃度計［　　　］%（40～60%厳守）	据付工事説明書			
放熱機	放熱機からエアかみ音、異常音の発生がなく、放熱機の温まり具合はよいですか。（ファンコンベクター、熱動弁）（放熱能力と温水循環流量はよいですか）	技術マニュアル			
	温水システムリモコン（VPZ-8SRC2）では回路基板内のSW1を「無」→「有」に切替えていますか。	据付工事説明書			
	エアリゾートとボイラ本体の通信線接続はよいですか。	エアリゾート据付工事説明書			
	ファンコンベクターとボイラ本体の通信線接続はよいですか。	ファンコンベクター据付工事説明書			

総合判定	●異常なし ●修理要（使用可能）　●修理要（使用停止） ●オーバーホール要　●その他（　　　　）	店名
		点検者

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

据付年月日		年　月　日			
点検予定年月		実施年月	内容	部品取替	費用	実施者
2年後	年　月	年　月		有・無	有料・無料	
4年後	年　月	年　月		有・無	有料・無料	
6年後	年　月	年　月		有・無	有料・無料	
	年　月	年　月		有・無	有料・無料	
	年　月	年　月		有・無	有料・無料	

故障・異常の見分けかたと処置方法

■本体の運転状態確認窓および、ボイラリモコンにより異常をお知らせします。VPZ-110RCD2の場合は表示部、VPZ-110RCS2の場合はモニターランプでお知らせします。

■次の場合はまずお客さまで処置してください。

	表示部 運転状態確認窓	表示部 VPZ-110RCD2	表示部 VPZ-110RCS2	原因	処置方法
灯油	OE（灯油切れ）「灯油」ランプ点滅	U-OE（灯油切れ）「点検灯油」点滅	モニターランプ2回点滅	定油面器がセットされていない	定油面器をセットする …14ページ
				フィルター付コック・油タンクバルブが閉まっている	閉められているバルブおよびコックを開く …14ページ
				油タンクに油がない	給油する …13ページ
				油タンクに水が入っている	油タンクの水抜きをする …25ページ
				送油経路途中に凹凸配管がある	凹凸配管をなくす
				フィルター付コックにゴミが詰まって油が流れない	掃除をする
循環液	「水」ランプ点滅	「点検水」点滅	モニターランプ3回点滅	防錆循環液が不足に近づいている（予告）	開放形は約1ℓ防錆循環液を補給する …26ページ
	OA（水切れ）「水」ランプ点滅	U-OA（水切れ）「点検水」	モニターランプ3回点滅	防錆循環液が不足している **空だき防止装置**（水位検知電極）が作動した	
感震器	17 感震器作動	U-17 感震器作動	モニターランプ4回点滅	強い地震や衝撃を受けていませんか？**対震自動消火装置**（感震器）が作動した	『地震などの災害が発生したとき』の点検項目を確認し再使用する …35ページ
燃焼	01	E-01	モニターランプ5回点滅	給排気筒トップ先端がふさがれている	先端のしゃ閉物を取り除き、リモコンの運転スイッチを押し直してください
	11	E-11			
	13	E-13		異常燃焼している（**異常燃焼検知装置**の作動）	給排気筒トップ・給気口・排気口が異物でふさがれていないか確認し、異物を取り除いてから運転スイッチを押し直してください

※処置しても直らないときは使用を中止してお買上げの販売店へご連絡ください。

■次の場合は一度お客さまで処置してください。
処置しても直らないときは使用を中止してお買上げの販売店にご連絡ください

	表示部			原因	処置方法
	運転状態確認窓	VPZ-110RCD2	VPZ-110RCS2		
電源	電源ランプが点灯しない	運転ランプが点灯しない	電源ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
				本体スイッチが「切」になっている	本体スイッチを「入」にする
	91 92 93	U-91 U-92 U-93	モニターランプ5回点滅	リモコンコードに異常がありませんか?	本体スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にする
	06	U-06	モニターランプ5回点滅	電源に異常がありませんか?	本体スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にする
	——	現在時刻が点滅する	——	停電がありませんでしたか?	VPZ-110RCD2の取扱説明書に従って各設定をし直してください
				停電安全装置が作動した(温水循環ポンプ異常停止)	

■次の場合は使用を中止してお買上げの販売店にご連絡ください。

	表示部			原因	処置方法
	運転状態確認窓	VPZ-110RCD2	VPZ-110RCS2		
燃焼	0d	0P0d	モニターランプ5回点滅	応急運転中	本体スイッチを「切」にしてお買上げの販売店にご連絡ください。
	01	E-01		点火安全装置、燃焼制御装置が作動した	
	11	E-11			
	11	E-11		途中消火した	
	05	E-05		炎検知回路の故障	
	0F	E-0F		フレームロッド短絡異常	
その他	09	E-09	モニターランプ5回点滅	排気筒はずれ検知が作動した	本体スイッチを「切」にしてお買上げの販売店にご連絡ください。
	18	E-18		**過熱防止装置**が作動した	
	02 1C 03 04 08 14 1A 1E	E-02 E-1C E-03 E-04 E-08 E-14 E-1A E-1E		故障です	
	デジタル表示が点灯しない	運転ランプが点灯しない	電源ランプが点灯しない	リモコンコードがコネクターから抜けている	お買上げの販売店にご連絡ください。
				異常過熱防止装置が作動している	
				異常着火検知装置が作動している	

※ボイラ本体の運転状態確認窓に「19」を点滅エラー表示したときは、ボイラ運転継続しますが、お買上げの販売店に表示内容をご連絡ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法 つづき

こんな症状のときは

使用を中止しお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	部品が故障している
排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする(屋内用強制給排気形の場合)	排気ガスが室内にもれている
防錆循環液が漏れている	温水配管接続部が不完全になっていたり、温水配管部材が劣化している

故障かな?次の症状は故障ではありません

	症状	原因
点火時	すぐ点火しない	予熱時間約10分が必要です
	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	温水温度が設定湯温より高いためです
運転時	運転状態確認窓に「水」ランプが点灯しているが、ボイラは運転できる 110RCD2:循環液点検点滅 110RCS2:モニターランプ3回点滅	運転積算時間が6000時間に達すると防錆循環液点検を知らせるためです。 (基板上のスイッチで設定した場合のみ)
消火時・その他	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
	温水循環ポンプが止まらない	温水温度が冷えたら自動的に止まります
	時刻表示が進む、または遅れる(VPZ-110RCD2の場合)	同一コンセントに大容量の製品が使用されています

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ずボイラの点検を実施してください。

点検内容

●給排気回りのはずれ、もれの確認　●周囲に可燃物がないこと　●防錆循環液のもれ
●送油経路部の油漏れ確認　●機器の損傷
●定油面器のリセット…… 14ページ

再使用のしかた

確認後、異常がなければリモコンおよび接続機器の運転スイッチを一旦「切」にして、ボイラの本体スイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。

●次のリモコンを使用している場合
- ●プログラムタイマーリモコン：VPZ-110RCD2
- ●システムリモコン　：VPZ-8SRC2
- ●システムスリムリモコン　：VPZ-8SER2

これらのリモコンが接続されている場合はリモコンからボイラを一旦停止させ、再度運転してください。
またその他の接続機器がある場合は接続機器の運転スイッチを一旦「切」にして、上記のリモコン操作を行ってください。

☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする（屋内設置形の場合）ときは使用を中止してお買上げの販売店またはお近くの「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」へ修理依頼してください。

部品交換のしかた

長期間のご使用で、消耗、劣化しやすい部品があります。
お買上げの販売店、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者〔（財）日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店で修理いたします。不完全な修理は危険です。
定期点検・交換部品の費用はお客さまにご負担いただきます。

部品交換のしかた つづき

■点検部品と交換部品の目安

	種類	部品	時期	備考
ボイラ本体	点検・清掃部品	●点火電極	2年毎	点検・清掃
		●炎検知電極		点検・清掃
		●オイルフィルター		点検・清掃
		●水フィルター		点検・清掃
		●防錆循環液※1		点検（液量、濃度）・強化剤添加
	定期交換部品	●防錆循環液※1	4年毎	全量交換・配管内洗浄
		●点火電極		新品に交換
		●炎検知電極		新品に交換
		●ゴム製送油管	3年	新品に交換
	同時交換部品	●各種パッキン	不具合発生時	部品交換などで取りはずしたときに新品に交換
		●各種シール剤		
	交換部品	●バーナー	不具合発生時	
		●灯油ポンプ		
		●定油面器		
		●燃焼用送風機		
		●熱交換器		
		●温水ポンプ		
		●制御基板		
		●各種センサー		
		●本体ケーシング		
放熱器・システム部材	点検・清掃部品	●エアフィルター	週に1度以上	点検・清掃
	交換部品	●熱動弁	不具合発生時	
		●送風機モータ		
		●制御基板		
		●各種センサー		
		●熱交換器		
		●本体ケーシング		
	同時交換部品	●各種Oリング※2	不具合発生時	

※1　防錆循環液〔三菱純正防錆循環液（VPZ-10GX、VPZ-18GX）〕
※2　排気筒接続用Oリングの種類

形名	Oリング
VKH-50KU-K VKH-80KUタイプ VKH-110KUタイプ	〔JIS B2401 4種D 呼びP49〕
VKH-150KUタイプ	〔JIS B2401 4種D 呼びP60〕

仕様

形式の呼び		VKH-50KU-K3	VKH-80KU-K3	VKH-110KU-K3	VKH-150KU-K3	VKH-80KU-M3	VKH-110KU-M3	VKH-150KU-M3
区分		K（開放式）				M（密閉式）		
種類		気化式・暖房用・1缶1水路式・タンク式 屋内用：密閉式強制給排気形、屋外用：開放形						
点火方式		高圧放電点火・自動点火						
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）						
燃料消費量 (ℓ/h)	強	0.70	1.15	1.57	2.14	1.15	1.57	2.14
	弱		0.70	1.08	1.40	0.70	1.08	1.40
暖房効率 (%)	強	80.0						
	弱	80.0						
暖房出力 (kW)	強	5.63	9.39	12.93	17.60	9.39	12.93	17.60
	弱		5.63	8.80	11.63	5.63	8.80	11.63
熱交換器容量 (ℓ)		0.5						
本体保有水量 (ℓ)		6.6				1.5		
最高使用圧力 (MPa)		大気開放				0.095以下		
伝熱面積 (m^2)		0.55						
外形寸法 (mm)		高さ：790、幅：490、奥行：260						
質量（本体のみ） (kg)		34			35.5	34		35.5
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz						
定格消費電力(50/60Hz) (W)	点火時	680/690	680/690	680/700	740/780	680/690	680/700	740/780
	燃焼時	105/120	120/135	295/320	390/430	120/135	295/320	390/430
給排気筒の型式の呼び		VPZ-110FFT-KU			VPZ-150FFT-KU	VPZ-110FFT-KU		VPZ-150FFT-KU
排気筒径 (mm)		φ50			φ60	φ50		φ60
給排気筒呼び径		D49			D59	D49		D59
給排気筒壁貫通部孔径 (mm)		φ75			φ100	φ75		φ100
排気温度 (℃)		260以下						
騒音レベル (dB)	屋内用密閉式強制給排気形 強	40	43	48	51	43	48	51
	屋内用密閉式強制給排気形 弱		40	42	46	40	42	46
	屋外用開放形 強	38	42	45	48	42	45	48
	屋外用開放形 弱		38	41	44	38	41	44
電流ヒューズ (A)		メイン回路15・メイントランス部5						
温度ヒューズ (℃)		192						
安全装置		対震自動消火装置・過熱防止装置・燃焼制御装置 点火安全装置・停電安全装置・空だき防止装置						
その他の装置		異常着火検知装置・異常過熱防止装置・異常燃焼検知装置 排気筒はずれ検知装置（屋内用密閉式強制給排気形のみ）						

※）屋内用密閉式強制給排気形の騒音レベルは給排気音を含んだ騒音値です。
※）暖房効率は灯油の高発熱量で計算しています。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のご相談は　「修理窓口」へ
●その他のお問い合わせは　「ご相談窓口」へ

補修用性能部品

■当社は、温水暖房システムの補修用性能部品を製造打切り後９年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

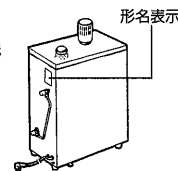
「故障かな？」と思ったら（28～30ページ）にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、本体スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代（出張料）などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. 品名　油だき温水ボイラ
2. 形名
3. 組み合わせている放熱機・部材
4. お買上げ年・月・日
5. 故障内容
   できるだけ具体的に
6. 住所・名前・電話番号
   付近の目印なども

形名表示

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内
（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理窓口　電話受付：365日24時間

北海道地区

札幌 (011) 890-7520　札幌市厚別区大谷地東 2-1-18
旭川 (0166) 26-5580　旭川市曙1条 8-1-4
北見 (0157) 25-7045　北見市柏陽町 577-60
釧路 (0154) 24-1355　釧路市喜多町 2-25
帯広 (0155) 35-3111　帯広市西15条南 14-1-17
苫小牧 (0144) 55-1114　苫小牧市明野新町 2-1-18
小樽 (0134) 33-3380　小樽市緑 2-28-22
函館 (0138) 49-0345　函館市西桔梗町 589-57

東北地区

青森 (017) 773-8381　青森市大字野木字野尻 37-184
弘前 (0172) 32-6535　弘前市大字青山 4-20-3
八戸 (0178) 28-8544　八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
むつ (0175) 22-3277　むつ市横迎町 2-11-7
盛岡 (019) 637-7454　盛岡市羽場13地割 30-11
水沢 (0197) 25-4511　水沢市卸町 2-3
釜石 (0193) 23-4611　釜石市定内町 3-10-1
仙台 (022) 238-1773　仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼 (0226) 23-8485　気仙沼市田中前 2-9-2
石巻 (0225) 95-9111　石巻市門脇字四番谷地 16-268
古川 (0229) 24-3595　古川市米袋字大窪 25-1
秋田 (018) 865-4471　秋田市八橋三和町 19-36
横手 (0182) 32-1785　横手市卸町 3-2
大館 (0186) 42-2781　大館市餅田 2-5-44
山形 (023) 624-0018　山形市大野目 2-1-21
酒田 (0234) 35-8230　酒田市上安町 1-11-11
鶴岡 (0235) 24-6161　鶴岡市上畑町 5-4
米沢 (0238) 37-5554　米沢市中田町 742-8
福島 (024) 534-7123　福島市御山字田中 58
郡山 (024) 959-6543　郡山市喜久田町卸 1-76-1
会津 (0242) 27-4426　会津若松市天寧寺町 3-7
原町 (0244) 24-2842　原町市桜井町 1-173
いわき (0246) 26-1822　いわき市内郷御台境町鶴巻 75-8

K02C

首都圏地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県

フロントセンター東京　電話 (03) 3424-1111
FAX (03) 3424-1115
東京都世田谷区池尻 3-10-3

甲信越地区

新　潟	(025) 274-9165	新潟市竹尾卸新町 752-9
長　岡	(0258) 23-3323	長岡市南陽 1-1118-1
上　越	(0255) 24-1160	上越市春日山町 3-6-3
長　野	(026) 221-3232	長野市稲葉 904
松　本	(0263) 27-2461	松本市芳川野溝 531
飯　田	(0265) 52-5396	飯田市上郷別府 3367-1
山　梨	(055) 222-2711	甲府市下飯田 1-4-11

東海・北陸地区

愛知県・三重県

フロントセンター名古屋　電話 (052) 721-0131
FAX (052) 721-7268
名古屋市東区矢田南5-1-14

沼　津	(0559) 22-7111	沼津市若葉町 20-1
静　岡	(054) 284-0821	静岡市中原 913
浜　松	(053) 463-8455	浜松市上西町 62-5
岐　阜	(058) 275-0909	岐阜市中鶉 3-24
中津川	(0573) 65-6646	中津川市駒場字町裏 526-2
高　山	(0577) 33-7410	高山市冬頭町 981-5
富　山	(0766) 56-0121	射水郡小杉町青井谷 1-1-1
金　沢	(076) 252-8133	金沢市小坂町西 97
福　井	(0776) 22-6340	福井市問屋町 1-19

関西地区

大阪府・奈良県・和歌山県（田辺・新宮を除く）
兵庫県（阪神・淡路・姫路地区）・京都府（鐡北を除く）

フロントセンター関西　電話 (06) 6454-3901
FAX (06) 6454-3900
大阪市北区大淀中 1-4-13

滋　賀	(077) 552-4058	栗東市安養寺 2-4-25
鐡　北	(0773) 23-5960	福知山市厚中町 61
豊　岡	(0796) 24-6360	豊岡市中陰 376
田　辺	(0739) 23-1109	田辺市稲成町字西沖代79-7
新　宮	(0735) 22-2495	新宮市池田 3-1-31

中国・四国地区

広島県・山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県

中・四国CSセンター　電話 (082) 890-6365
FAX (082) 890-6367
広島市南区大洲 4-3-26

九州地区

福　岡	(092) 412-5333	福岡市博多区東那珂 3-1-21
北九州	(093) 653-1231	北九州市八幡東区昭和 2-5-25
久留米	(0942) 45-2661	久留米市東合川新町 7-20
佐　賀	(0952) 31-4189	佐賀市鍋島町大字八戸溝348-2
唐　津	(0955) 72-1337	唐津市東城内 6-50
長　崎	(095) 843-0622	長崎市大橋町 23-4
佐世保	(0956) 30-7740	佐世保市木原町 155-1
熊　本	(096) 380-0211	熊本市石原町 326-1
八　代	(0965) 33-5173	八代市緑町 13-1
大　分	(097) 558-8803	大分市向原西 1-8-1
宮　崎	(0985) 56-4900	宮崎市大字赤江字飛江田150-1
延　岡	(0982) 21-3540	延岡市惣領町 25-5
鹿児島	(099) 260-2421	鹿児島市卸本町 7-17
沖　縄	(098) 898-3333	宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、取扱い方法のお問合わせは
三菱電機お客さま相談センター　365日24時間
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

■全国どこからでも おかけいただけるフリーダイヤル
0120-139-365（通話料金無料）
いつも サンキュー　365日
■通常電話番号（携帯電話対応）03-3414-9655
■FAX 03-3413-4049

当社家電品についてのご相談やご要望は
地区お客さま相談室
（月～金曜日　9：00～17：00　祝祭日を除く）

北海道	(011) 893-1313	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 2-1-11
東　北	(022) 231-8282	〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 2-2-33
首都圏	(03) 3414-9722	〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
中　部	(052) 972-7222	〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-4-3
北　陸	(076) 252-1356	〒920-0811 金沢市小坂町西 81
関　西	(06) 6451-3611	〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-4-13
中　国	(082) 278-1322	〒733-0833 広島市西区商工センター 6-2-17
四　国	(087) 879-1190	〒761-1705 香川郡香川町大字川東下 717-1
九　州	(092) 571-2211	〒816-0088 福岡市博多区板付 4-6-35

こんなとき

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K02C

保証書

■お客さまへ
取扱説明書の本ページが保証書になっています。
必ず本書をお受け取りになるときに「お買い上げ日、販売店名、扱者印」が記入してあることを確認してください。

MITSUBISHI 三菱油だき温水ボイラ（暖房専用）保証書

形名			製造番号	
お客さま	お名前　　　様			
	ご住所　〒			
	電話　（　　）			
※お買い上げ日		※取扱販売店名・住所・電話番号		
年　月　日				印 または サイン
保証期間（お買い上げ日より）				
1年間	ボイラ本体			
	放熱機・システム部材			

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買い上げの日から左記の期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
- 本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan

〈無料修理規定〉

1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
なお、離島又は離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、本書記載のお近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水質および給水の供給事情による故障および損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にご愛用者名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
（ヘ）一般家庭用以外（業務用の長時間使用・車輛・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。
（ト）不純灯油使用による故障および損傷。

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または本書記載のお近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」へお問い合わせください。
なお、取扱説明書紛失時は総合窓口の「三菱電機お客さま相談センター」(0120-139-365)にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては詳しくは本書の内容をご覧ください。

修理実施日	修理内容	サービス員氏名

愛情点検

★長年ご使用の油だき温水ボイラの点検を！

ご使用の際このような症状はありませんか。
- 排気パイプがはずれている。
- 臭いがしたり、目がチカチカする。
- 本体後部の壁がススで汚れている。
- 燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
- 点火しない。使用中炎がたびたび消える。
- 運転中に「ボーン」という大きな音がする。
- その他の異常・故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから必ずお買上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号